

種 目 別 要 項

項目	全日本実業団ヨット選手権大会		全日本セーリング選手権大会			
	国際470級	国際スナイブ級	国体シングル ハンダー級 (成年男子)	国体ウィンド サーフィン級 (成年男子・成年女子)	セーリング スピリッツ級(成年女子・少 年男子・少年女子)	シーホッパー級SR (成年女子・ 少年男子・少年女子)
1. 大会日程	第1日目 9月15日(金)					
	9:30~15:00 受付			船川港特設セーリング競技場		
	9:30~17:00 登録 計測(及び登録:ウィンド)			船川港特設セーリング競技場		
	11:50~15:00 トライアルレース					
	15:30~16:00 開会式			男鹿市民文化会館		
	16:00~16:30 競技運営説明会			男鹿市民文化会館		
	第2日目 9月16日(土)					
	A海面			B海面		
	9:55第1レース 予告信号	10:00第1レース 予告信号	10:05第1レース 予告信号	9:55第1レース 予告信号	10:15第1レース 予告信号	10:20第1レース 予告信号
	引き続き第2レース 予告信号	引き続き第2レース 予告信号	引き続き第2レース 予告信号	12:55第2レース 予告信号	13:15第2レース 予告信号	13:20第2レース 予告信号
	引き続き第3レース 予告信号	引き続き第3レース 予告信号	引き続き第3レース 予告信号	引き続き第3レース 予告信号	引き続き第3レース 予告信号	引き続き第3レース 予告信号
	引き続き第4レース 予告信号	引き続き第4レース 予告信号	引き続き第4レース 予告信号			
	第3日目 9月17日(日)					
	B海面			A海面		
	9:55第5レース 予告信号	10:00第5レース 予告信号	10:05第5レース 予告信号	9:55第4レース 予告信号	10:15第4レース 予告信号	10:20第4レース 予告信号
	引き続き第6レース 予告信号	引き続き第6レース 予告信号	引き続き第6レース 予告信号	12:55第5レース 予告信号	13:15第5レース 予告信号	13:20第5レース 予告信号
	引き続き第7レース 予告信号	引き続き第7レース 予告信号	引き続き第7レース 予告信号	引き続き第6レース 予告信号	引き続き第6レース 予告信号	引き続き第6レース 予告信号
	引き続き第8レース 予告信号	引き続き第8レース 予告信号	引き続き第8レース 予告信号			
	第4日目 9月18日(月)					
	A海面			B海面		
9:55第9レース 予告信号	10:00第9レース 予告信号	10:05第9レース 予告信号	9:55第7レース 予告信号	10:15第7レース 予告信号	10:20第7レース 予告信号	
15:00~16:00 閉会式						
<p>成年男子及び成年女子国体ウィンドサーフィン級は、同時スタートでレースを行う。</p> <p>セーリングスピリッツ級は、全ての種目を同時スタートでレースを行う。</p> <p>シーホッパー級SRは、全ての種目を同時スタートでレースを行う。</p> <p>その他、出場艇数によっては、複数種目の同時スタートによるレースを行うこともある。</p> <p>天候、その他の事情により、競技日程及びエリアを変更することがある。</p>						
2. 適用規則	2005~2008年セーリング競技規則に定義された「規則」を適用する。国体ウィンドサーフィン級は、付則Bを適用する。国際スナイブ級は付則D1.2を適用する。					
3. 広告	クラス規則及び日本セーリング連盟規程に定められたとおりとする。また主催団体が選定、要求した広告を表示しなければならない。					
4. 1チームの登録人員	監督1名 選手5名以内 (470級登録者はスナイブ級に登録できない)	監督1名 選手9名以内 (スナイブ級登録者は470級に登録できない)	1艇の登録人員は1名とする。	1艇の登録人員は1名とする。	1艇の登録人員は2名とする。	1艇の登録人員は1名とする。
5. 1チームの艇数	1艇	2艇	-	-	-	-

項目	全日本実業団ヨット選手権大会		全日本セーリング選手権大会			
	国際470級	国際スナイブ級	国体シングル ハンダー級 (成年男子)	国体ウィンド サーフィン級 (成年男子・成年女子)	セーリングスピリッツ 級(成年女子・少年男子・ 少年女子)	シーホッパー級SR (成年女子・ 少年男子・少年女子)
6.	平成18年度(財)日本セーリング連盟メンバー登録を終えた者。					
参加資格	乗員のうち1名以上は、パッチテスト 中級4級以上の者	パッチテスト中級 4級以上の者	パッチテスト中級 以上の者	成年女子はパッチテスト中級4級以上、 少年男子・少年女子はパッチテスト 初級5級以上の者		
	全日本大会、地方水域大会、各々への 参加申し込み時点でチームメンバーの全 員が、そのチームが帰属する事業所と雇 用関係にあること。同一の事業所には、 資本提携関係にある系列会社も含まれ る。		各都道府県ヨット連盟及びセーリング連盟又は主催団体の推薦を受けた者。			
	参加資格 チームは、地方水域の実業団ヨット連盟 から推薦を受けた者であること。		昭和63年4月1 日以前に生まれた者	昭和63年4月1 日以前に生まれた者	成年女子は昭和63年4月1日以前に 生まれた者、少年男子・少年女子は昭 和63年4月2日以降に生まれた者	
	チームメンバーは義務教育とこれに準 じたものを終了した者であること。				参加者が未成年の場合は監督が付き添 うこと。監督は複数の艇の監督を兼ねる ことができる。	
	実行委員会は上記条件を満たし、単一 の企業、事業所に属さないメンバーで構 成されたチーム(クラブチーム)のオー プン参加を認める。オープン参加チーム は全日本大会の表彰対象とはしないが、 各レースのトップ賞についてはその受賞 資格を与える。					
	マスターズ・レディース賞への登録大 会が行われる年の12月31日までに50歳以 上となるもの、もしくは、女性はマス ターズ・レディース賞への登録をすること ができる。各レースのチームメンバー 表提出時に登録の意思確認を行うこと。 スキッパー・クルーいずれか一方でも 可。					
		スナイブ級のスキ ッパーと艇体は大 会開催年度のSCIR A登録を完了して いること。				
	参加者が未成年の場合は、親権者の出場承諾書を参加申込書に添付すること。					
7.	1チーム 20,000円	1チーム 40,000円	7,000円	7,000円	10,000円	5,000円
参加料	ただし、オープン 参加の場合は1艇 10,000円	ただし、オープン 参加の場合は1艇 10,000円				
8.	1回以上のレースが完了していれば、本シリーズは成立する。					
大会成立						
9.	完了したレースが5レース以下の場合、艇(国際スナイブ級はそのチーム)のシリーズの得点は全レースの合計得点とする。					
得点方式	6レース以上完了した場合は、艇(国際スナイブ級はそのチーム)の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。					
	国際スナイブ級は、チームを構成する2艇の得点の合計をそのレースの得点とする。					
	得点計算にあたっては、オープン参加のチームも含むこととするが、表彰は行わない。					

項目	全日本実業団ヨット選手権大会		全日本セーリング選手権大会			
	国際470級	国際スナイプ級	国体シングル ハンダー級 (成年男子)	国体ウィンド サーフィン級 (成年男子・成年女子)	セーリングスピリッツ 級(成年女子・少年男子・ 少年女子)	シーホッパー級SR (成年女子・ 少年男子・少年女子)
10. 表彰	優勝チーム ・山縣記念杯 ・実業団会長杯 (以上持ち回り) 優勝 ・優勝杯 2位及び3位 …杯 1位から8位 …賞状	優勝チーム ・高松宮妃記念杯 ・実業団会長杯 (以上持ち回り) 優勝 ・優勝杯 2位及び3位 …杯 1位から8位 …賞状	優勝 ・優勝杯 2位及び3位 …杯 1位から8位 …賞状	優勝 ・優勝杯 2位及び3位 …杯 1位から8位 …賞状 成年男子・成年女子の別にそれぞれ賞状を与える	優勝 ・全日本優勝杯(持ち回り) ・優勝杯 2位及び3位 …杯 1位から8位 …賞状 成年女子・少年男子・少年女子の別にそれぞれ賞状を与える	優勝 ・優勝杯 2位及び3位 …杯 1位から8位 …賞状 成年女子・少年男子・少年女子の別にそれぞれ賞状を与える
	上記はオープン参加のチームは対象としない。					
	下記はオープン参加のチームも対象とする。					
	各レースのトップ艇・・・トップ賞 マスターズ・レディース賞登録者乗艇 トップ艇・・・マスターズ・レディース賞					
11. 水域割当 参加チーム	東北・関東 8 中部 4 近北 1 関西 3 中・四国 5 九州 2 計 23	東北・関東 9 中部 9 近北 1 関西 5 中・四国 4 九州 2 計 30				
12. 参加艇数	計 40 (オープン参加を含む)	計 68 (オープン参加を含む)	計 50	計 50	計 50	成年女子・少年男子・少年女子それぞれ各50
	(注) 一部水域において割当数の一部または全部を辞退した時は、全日本実業団ヨット連盟により調整し再割り当てを行う。オープン参加艇の調整は実行委員会が行う。		参加艇数を超える場合は調整することがある。			
13. 報告義務	参加者は、変更事項が発生した場合は、秋田わか杉国体男鹿市実行委員会事務局に報告しなければならない。 各水域連盟責任者は、当該水域推薦チームを、8月18日(金)までに下記宛てに連絡しなければならない。(連絡後に変更がある場合は、直ちにその旨を報告のこと) (連絡先) 〒224-0817 横浜市戸塚区吉田町778-9-320 全日本実業団ヨット連盟 事務局 外尾竜一 TEL・FAX 045-864-4188 E-mail: dragon1h@ybb.ne.jp					
14. 計測	計測される艇体、セール、スパー類及び艀装品は、1艇につき1組とする。	計測される艇体、セール、スパー類及び艀装品は、1艇につき1組とする。	ボード1艇、セール3枚、センターボード2枚までを許可する。 マスト及びブームの本数は制限しない。 レース終了後、ランダムにピックアップして計測を行う。	計測される艇体、セール、スパー類及び艀装品は、1艇につき1組とする。	計測される艇体、セール、スパー類及び艀装品は、1艇につき1組とする。	計測される艇体、セール、スパー類及び艀装品は、1艇につき1組とする。
15. その他	日本セーリング連盟規程3.3による。 本大会は日本セーリング連盟環境キャンペーンを推進する。					